

学校だより(ねあがい)

平成30年12月21日発行

校長 石田 恵一

2学期を振り返って

いよいよ2学期終業式の日を迎えました。中学校においては、2学期は、運動会・文化祭と大きな学校行事が行われた学期です。今年の運動会・文化祭も心から素晴らしいと感じました。子ども達が、苦しくても心を合わせて目標に向かい全力で行事に取り組み、やり終えた後に大きな達成感や感動を積み上げていく。その過程で人として大切なことを学んでいく。そして、子ども達の活動を先生達が全力で応援し、支え導いていく。まさしく教育の原点がここにあると思います。

学校行事から何を学ぶのか

学校行事をとおして、子ども達は、高い目標に向かって努力すること、仲間と心を合わせて協力してやり遂げることなど、人として大切なことを学んでいきます。勉強も、スポーツも、運動会などの学校行事もみんなそうですが、一生懸命頑張るから大変で、手加減したりあきらめれば楽かもしれません。でも、高い目標に向かい、みんなで心を合わせて、大きな努力を積み重ねてやり遂げた後に待っている、あの感動、あの達成感、やり遂げた人にしか分からない、苦しんだ人にしか分からない素晴らしい世界だと、繰り返し子ども達に話しています。全ての子ども達が、勉強や学校行事、部活動などの学校生活で大きな感動や達成感を積み重ねて、根上中学校でよかったと胸を張って卒業してほしいと願っています。

子ども達の感想から2学期を振り返る

学校行事を終えた後の子ども達の感想を読むのが大好きです。そこには、子ども達の深い想いや学び、喜びや苦しみなどがぎゅうぎゅう詰まっています。読んでいて涙が出ることもあります。全校集会で紹介した子ども達の感想を掲載します。どの学年の感想も深い想いを感じましたが、あえて1年生の学びを紹介します。

【運動会編】

子ども達が最も燃える行事です。もちろん運動の得意な子どもばかりではありません。でも、運動の苦手な子ども団やクラスのために一生懸命になるその姿に感動しました。

「変えてくれた」

中学校で初めての運動会がありました。この運動会で私にとっての運動会という世界が変わりました。私は運動会が好きではありません。だから、今までみたいに、私の思い出の中から、時間がたつと消えてしまうだろうと思っていました。運動会は運動が好きな人達が楽しむものだと思っていましたが、中学校の運動会は運動がきらいな人も、ダンスが苦手な人も楽しめるものだと色々な競技で分かりました。

私が運動会を違う見方ができるようになったきっかけは、応援合戦です。私達の団は二年がおらず、一年と三年で応援合戦をすることになりました。始めは、勝てるはずがないと思っていましたが、三年生達は勝つつもりで練習をしていました。私には、どうしてそのように強気でいられるのか分かりませんでした。ですが、三年生達が諦めずに練習をしている姿を見て、みんなも変わっていき、本気で練習するようになっていきまし

た。私も先輩達ばかりが本気でやり、私は本気でやっていないと思うと、先輩達に申し訳なくなっていき、自分のできる限りの力を出して頑張ってみようと思えました。すると、今までの応援では感じなかった、みんなと一致団結したような気持ちになり、運動会という存在が少しずつ心を高鳴らせるような物になっていきました。本番では、スタートラインに立ったとき心臓がいつもより速く動いていることが分かりました。スタートの合図とともに私の動いていた心臓が急に止まったようになり、自分自身でも驚いてしまいましたが、それと同時に足が動いていました。その後は興奮してしまいあまり覚えていませんが、のどが痛くなるほど声を出しました。こんなに運動会を本気でしたことは、私はありません。そして、こんなに興奮や心を高鳴らせるなどの思いもしたことがありません。そして優勝でき、より興奮しました。

私は、この運動会は一生涯忘れられない思い出となったと思います。このような思い出ができたのは、諦めずに最後まで引っ張ってくれた先輩たちのおかげだと思います。私の今までの運動会という世界の色を変えてくれ、今までに感じたことのない気持ちを味わせてくれました。

だから、来年入ってくる一年生にも、このような先輩の姿を見せられるようにしたいです。



【文化祭編】

演劇や合唱、一つのものをみんなで創る苦しみと喜び、やり遂げた達成感、仲間と心を合わせる喜びなど大切なことを学びます。

「本気の文化祭」

私はこの文化祭で三つの本気を感じました。演劇からも合唱コンクールからも感じました。

一つ目は「誰かに本気で伝える」です。これは演劇からです。「ツンダの星」は、三年生が協力して作った演劇です。だから、役者やスタッフ以外は誰も話の内容が分からないのです。でも、三年生の演技をみていると、手の動きや表情一つからその人物の感情がすごく伝わってきました。それは、三年生が本気で伝えたからこそだと思います。私も三年生になったら、劇に参加したいです。

二つ目は「仲間と本気で支え合う」です。演劇では役者ばかりに目がいきがちですが、裏方のスタッフも頑張っていました。放課後、合唱コンクールのお便りを書いて階段を降りていると、家庭科室の方から「あと〇着」という声が聞こえてきて、裏方の人がこんなに早くから準備を始めてすごいなと思いました。私たちは運動会で支え合う、協力するということを学びました。それを三年生のように違う所にも生かしていきたいです。

三つ目は「仲間を本気で信じる」です。合唱コンクールで前を向いて歌っていると、周りの人が歌っているか心配になります。でも、仲間を信じれば最高の合唱になります。私たちはそれをして最優秀賞を取れました。私たちが二年生・三年生になったとき、合唱コンクールや運動会でもこの経験を生かしていきたいです。

最後に、私たちが最高の終わり方ができたのは、自分たちも頑張ったのですが、先輩たちのおかげもあると思います。先輩たちは、運動会で私たちに本気を教えてくれました。私は先輩たちに感謝をして、この経験を生かし、これからの学校生活を過ごしたいです。